

↓ リアルストアへ

ネットストアへ →

イベント
EVENT

ファッション
FASHION

フーズ
FOODS

フロアガイド
FLOORGUIDE

ブランド検索
BRAND SEARCH

ネット会員
NETMEMBER



はじめまして。
「博多商会」と
申します。

福岡・博多に残る伝統技術や、
伝統工芸などの職人技をお持ちの
職人さん達と、若手女性デザイナー
2人がコラボレーション。新しい伝統の
形を博多商会目線で提案する集団です。
このコーナーでは、そんな中で私たちが
出会った職人技をご紹介します。



池田麻衣子
1979年福岡生まれ。
福岡育ち。グラフィックデ
ザインを中心に、サイン看
板のデザイン設計も行う。
博多にてデザイン事務所
「me」を主宰。



林舞
1983年北九州市生
博多区在住。グラフィック
デザイナー。パンが好き、
活版（カッパン）に興味を
もったのをきっかけに、
ばんとたまねぎ主宰

バックナンバー

「活版印刷」▶
印刷会社・文林堂 山田善之さん

博多商会が見つけた 博多のあれやこれ。

今回ご紹介するのは…

「工業彫刻」 kougyo choukoku

老舗のはんこ屋さん。

その工場の奥には、貴重な
技術を持つ職人さんがいました。

明治38年創業。天神の街に100年以上前からお店をか
まえる「小金丸彫刻工業」さん。福岡市赤坂には、職人さ
ん達が日々お仕事に励む工場があります。

昔ながらの“はんこ屋さん”ではありますが、工場に一歩
足を踏みいれると、まるで昭和にタイムスリップしたよう！
工場内では、60年前に導入されたという、当時ではと
ても珍しい外国製の彫刻機が並んでいました。その傍ら、最
新のレーザー彫刻機も備えるという、古いけど新しい工場
です。

その中でも彫刻機を右腕のように使い続けている職人さ
んが、笑顔の素敵なか島伸昌さん。この道50年のか島
さんに、お仕事の様子を見せていただきました。



注目した職人さん

小金丸彫刻工業 中島伸昌さん
1943年、長崎県生まれ



中島さんの手でしかできない彫刻。
さてさて、どんなものなのでしょう？

ここでいう「彫刻」は、箕などを使うような美術造形
的なものではなく「工業彫刻」というものです。

中島さんが使っている彫刻機では、アクリル板、金属、
プラスチックなど様々な製品に文字や図柄を施すこと
ができ、普段私たちが街角でみかけるサイン（マーク
や会社のプレートなど）を制作しています。現在では、
工業彫刻の世界にもパソコンが導入されて、自動的
に彫れる機械も増えてきたそうですが、職人さんたち
は、長年培ってきた感覚を頼りに立体面や曲面、この
昔ながらの機械でしか出来ない「手作業による彫刻」
をやっているらしいです。

けやき通りから少し入っ
た赤坂の住宅街。現在の
の佇まいを写真でパチ
リ。目印は、工場の前に
掲げられた赤色の会社
案内です！



50年間仕事を共にしてき
た彫刻機を、まるで身体
の一部のように使いこな
す中島さん。機械と一心
同体なんですね。



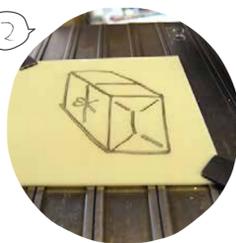
工業彫刻の工程のぞかんね

①



1. レーザー彫刻にしたいイ
ラストを描く。

②



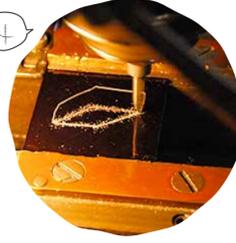
2. イラストをもとに版下を作成、原版をつくる。
(仕上がりの5~10倍の大きさです)

③



3. 彫りやすいよう切削油をか
けて、大体の輪郭を彫る。

④



4. 彫刻機で丁寧に彫ります。

⑤



5. 職人さんが微調整をしつつ彫
りあげて完成。



すべて手探りの作業で職人さんの「腕」が光る仕事技。
素材ごとに雰囲気が変わってとても面白いですね。
中島さん、ありがとうございます！

小金丸彫刻工業(株)
〒810-0042 福岡市中央区赤坂3丁目1番5号
tel:092-731-1367

博多商会とは？



福岡・博多に残る伝統技術や、
伝統工芸などの職人技をお持ち
の職人さん達と、若手女性デ
ザイナー2人がコラボレーシ
ョン。新しい伝統の形を博多商
会目線で提案する集団です。

ホームページ

<http://hakatashokai.com/>